

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル 2PRA 分科会

第 18 回会合議事要旨

日時：2016 年 11 月 21 日（月）13:30～16:30

場所：電中研大手町本部第一会議室

出席者：

委員：阿部（主査）、成宮（副主査）、中村（幹事）、石川、佐藤、豊嶋、橋本、濱崎、原口、村松（途中参加）、山本、渡邊、宇井（楠木代理） 13 名出席

常時参加者：長江、野崎、野村、藤村、前田、星 6 名出席

傍聴者：森川

配布資料：

P10SC18-1:第 17 回レベル 2PRA 分科会議事録

P10SC18-2-1:地震時レベル 2PRA の標準策定の進め方 検討結果（案）

P10SC18-2-2:【補足資料】レベル 2PRA 分科会各サブ WG 検討結果資料

P10SC18-2-3:地震時レベル 2PRA の標準策定の対応案の比較分析

P10SC18-2-4:地震時レベル 2PRA 標準の対応案に関する意見集約結果

P10SC18-2-5:地震レベル 2PRA の対象とする事故シナリオの例（仮）

P10SC18-3-1:ASME/ANS/JCNRM における日本の国際ワーキンググループ（JIWG）設置への対応について

P10SC18-3-2:ASME/ANS JIWG 第一回会合結果報告

P10SC18-4：標準委員会の標準策定 5 年計画の更新について

P10SC18-5：レベル 2PRA 標準講習会の結果報告

P10SC18-6：今後のスケジュールについて

補足（P10SC18-3-1 関連）：ASME/ANS/JCNRM におけるトライアルユース(Trial Use)の仕組みについて

議事（発言者敬称略）

議事に先立ち、委員 17 名中 12 名（開始時点）が出席しており、定足数を満たしていることが報告された。

（1） 前回議事要旨確認

幹事より、資料 P10SC18-1 に基づき、前回議事録要旨（案）についての説明があった。要旨案に対しコメントはなく、了承された。

（2） 外的事象レベル 2PRA の方針について

幹事より、資料 P10SC18-2-1 に基づき、これまでの検討状況及び今後のスケジュールについて説明があった。

資料 P10SC18-2-1 の表 3 地震時レベル 2PRA の標準化の可能性の検討結果まとめについて、豊島委員より箇条 1～8、橋本委員より箇条 9, 10, 山本委員より箇条 10～12、石川委員より箇条 13～15 の説明があり、今後の地震時レベル 2PRA 標準の発行に向けた 3 つの対応案について議論を行った。

本日の議論を踏まえて、11 月 24 日の第 40 回リスク専門部会では対応案 1 または 2 を提出する。

（3） ASME/ANS/JCNRM における日本の国際ワーキンググループ (JIWG) 設置への対応について

成宮副主査より、P10SC18-3-1 に基づき、①日本の国際ワーキンググループ (JIWG) 設置、②PRA/リスクマネジメント分野における協力、についての提案があり、提案を受けることとするという報告があった。

（4） 今後の予定

- ・ 第 40 回リスク専門部会（11 月 24 日） 対応：三役
外的事象レベル 2PRA 方針の報告
- ・ 第 2 回 JIWG 対応：成宮副主査，中村幹事
- ・ 第 19 回レベル 2PRA 分科会（2 月 20 日 13:30～17:30）

以後、分科会は 3 か月毎を目途に開催

以上